

是枝正啓教授 略歴・著作目録

略 歴

昭和21年 7 月	宮崎県に生まれる
昭和45年 3 月	九州大学経済学部経済学科卒業
昭和47年 3 月	九州大学大学院経済学研究科修士課程終了
昭和50年 3 月	九州大学大学院経済学研究科博士課程単位取得満期退学
昭和50年 4 月	九州大学経済学部助手
昭和51年 2 月	長崎大学商業短期大学部講師
昭和53年 9 月	文部省内地研究員（九州大学経済学部）
昭和54年 8 月	長崎大学商業短期大学部助教授
平成 3 年 5 月	長崎大学商科短期大学部教授
平成 5 年 5 月	文部省在外研究員（連合王国オックスフォード大学）
平成 9 年10月	長崎大学経済学部教授
平成24年 3 月	定年退職
平成24年 4 月	長崎大学名誉教授

学会及び社会における活動

昭和46年 4 月	西日本理論経済学会（現在日本応用経済学会に名称変更）会員（現在に至る）
昭和47年10月	理論・計量経済学会（日本経済学会に名称変更）会員（現在に至る）
昭和50年 4 月	九州経済学会会員（現在に至る）
平成 7 年 6 月	西日本理論経済学会幹事（平成18年 5 月まで）
平成10年 4 月	九州経済学会理事（学会誌編集担当）（平成11年 3 月まで）
平成18年 6 月	日本応用経済学会理事（平成24年 3 月まで）

著作目録

著 書

1. 『ミクロ経済学要論』(共著)有斐閣, 1977年.
2. 『現代アジア経済の発展と動向』(共著)税務経理協会, 1985年.
3. 『ミクロ経済学入門』(共著)中央経済社, 1985年.
4. 『応用ミクロ経済分析』(共著)有斐閣, 1990年.
5. 『現代ミクロ経済学』(共著)中央経済社, 1991年.
6. 『ミクロ・エコノミックス』(共著)九州大学出版会, 1999年.
7. 『現代ミクロ経済分析』(共著)中央経済社, 1999年.
8. 『ミクロ経済学』(共編)勁草書房, 2001年.
9. 『ミクロ経済分析』(共著)九州大学出版会, 2002年.
10. 『ミクロ経済学講義・演習』(共編)勁草書房, 2005年.
11. 『ミクロ経済学』(共著)九州大学出版会, 2008年.

訳 書

1. 『経済学のためのゲーム理論』(共訳)東洋経済新報社, 1981年.

論 文

1. 「市場均衡の安定性」(単著)「経済論究」(九州大学経済学研究科)第33号, 1976年.
2. 「再契約プロセスとその安定性」(単著)「経済学研究」(九州大学経済学会)第41巻2号, 1975年.
3. 「市場ゲームと再契約プロセスの安定性」(単著)九州経済学会年報, 1976年.
4. 「Nash の Bargaining 問題とその応用」(単著)「経営と経済」(長崎大学経済学会)第57巻第2号, 1977年.
5. 「線形生産関数によるフォン・ノイマン帰結の別証」(単著)「経営と経済」(長崎大学経済学会)第59巻第1号, 1979年.
6. 「推測的变化をもつ複占解」(単著)「経営と経済」(長崎大学経済学会)第64巻第1号, 1984年.
7. 「コンシステントな推測的变化に関する一考察」(単著)「経営と経済」(長崎大学経済学会)第65巻第2・3号, 1985年.
8. 「複占スーパーゲームと推測的变化」(単著)「経営と経済」(長崎大学経済学会)第66巻第4号, 1987年.

9. 「Contestable Market and Cost Structure」(単著)「経営と経済」(長崎大学経済学会)第68巻第4号, 1988年.
10. 「寡占企業と競争」(単著)『現代ミクロ経済学』(中央経済社)所収, 1991年.
11. 「推測的变化, 割引を伴うくり返しゲームのナッシュ均衡戦略」(単著)「経営と経済」(長崎大学経済学会)第71巻第2号, 1991年.
12. “Nash Equilibria Strategies in Kalai and Stanford Model with a Cost Function and Consistent Conjectural Variations”(単著)「経済学研究」(九州大学経済学会)第57巻5・6号, 1992年.
13. 「クールノー的2期間生産モデルにおける完全ナッシュ均衡」(単著)「現代経済学研究」(西日本理論経済学会)第4号, 1995年.
14. 「クールノー型複占における Balanced Temptation Equilibrium の存在と一意性」(単著)「現代経済学研究」(西日本理論経済学会)第6号, 1997年.
15. 「製品差別が存在するモデルにおける Balanced Temptation Equilibrium」(単著)「現代経済学研究」(西日本理論経済学会)第10号, 2002年.

研究ノート

1. 「対称的複占における利潤可能性フロンティアと Balanced Temptation Equilibrium の存在と一意性」(単著)「経営と経済」(長崎大学経済学会)第75巻第3・4号, 1996年.
2. 「製品差別がある場合の Balanced Temptation Equilibrium に関する一考察」(単著)「経営と経済」(長崎大学経済学会)第82巻第2号, 2002年.